

No.  
08

国際交流員ベサニーの  
大田区絵日記



# Den-enchofu

SESERAGI PARK

今回は、多摩川駅から徒歩1分のところにある、田園調布せせらぎ公園に行ってきました。

公園の土地はかつて「多摩川園」という1925年12月に開園した遊園地があった場所で、お化け屋敷やメリーゴーランドなど、さまざまなアトラクションがあり、多くの人を訪れたそうです。

残念なことに来場者の減少により、1979年6月に遊園地が閉鎖されました。その後、土地はテニスコートとして利用されていましたが、そちらも2002年に閉鎖されました。

閉鎖後、一部の土地は他に売却され、残りの土地は大田区が公園予定地として取得し、2008年に「田園調布せせらぎ公園」としてオープンしました。

## Lunch

公園を散策する前に、公園内にあるカフェ「Rucello」（イタリア語で「小さな川」「せせらぎ」の意味）でランチを食べることにしました。カフェの中からは公園内が見渡せ、自然を感じながらコーヒーを飲むことができます。

ランチはカレーライスにしました。コスパが良くて本当に美味しかったです。他にもパスタやサンドイッチ、ケーキなども売っていました。



# 田園調布せせらぎ公園



カフェから公園に入っていくと、長くて急な階段があります。木に囲まれていてきれいでしたが、上るのに結構疲れました！この階段がある場所は、かつて遊園地だった頃に、50メートルもある急な「滑り台」があったそうです。

この階段を上ると桜を含む木々のあるところに出ます。ここには、いくつかのピクニックテーブルと芝生のエリアがあります。私が訪れた日は晴れていたなので、家族や友人とピクニックをしている人がたくさんいました。コンクリートのひろばもあり、たくさんの子どもが楽しく遊んでいました。



小道を進むと、木々に囲まれたエリアに入り、鳥の声や近くの小さな滝や泉の水が湧き出る音が聞こえてきます。

この公園では様々な生き物や植物が見られるそうです。田園調布せせらぎ公園のホームページで紹介されているので、よかったら見てみてください。

(<https://www.den-en-seseragi.jp>).



# 田園調布せせらぎ館

園内をぶらついた後、2021年1月にオープンした「田園調布せせらぎ館」を見に行くことにしました。

建物の2階は主に多目的レンタルスペースですが、1階には机と座る場所があります。片側には床から天井までの窓があり、そこから公園を眺めることができます。反対側の壁沿いには、「せせらぎ文庫」があり、地域、自然、文化、スポーツ、健康、子育て、絵本などの本や雑誌が棚に並んでいます。

せせらぎ文庫の本は、借りることはできませんが、施設内で読むことができます。また、スタッフに声をかければ、外に持ち出して読むことも可能です。

広い公園ではないのですが、魅力的なところがたくさんあります。小さな滝などがあり、東京にいるとは思えないほど自然が溢れています。ベンチや座る場所がたくさんあるので、友人や家族と一緒に太陽の下でリラックスするのに最適です。カフェで美味しいご飯を食べたり、コーヒーを飲んだりするなど、せせらぎ館ではリラックスしながら本を読んだりすることができます。

機会があれば、ぜひ田園調布せせらぎ公園に足を運んでみてくださいね。

何か質問やおすすめの場所があれば、ぜひ教えてください。

